



クリエイティブ・リンク・ナゴヤ 2023年度助成 採択事業決定

クリエイティブ・リンク・ナゴヤは新たな文化芸術の価値の創造を通じて、都市の活力・魅力を向上させることを目的に名古屋市が昨年10月に新たに設置した文化芸術支援組織です。当組織として2年目2回目となる今回の助成は、対象事業の時期を2023年7月10日から2024年3月3日までの約8か月間と大幅に延長しました。採択結果は下記となりました。

■2023年クリエイティブ・リンク・ナゴヤ助成事業 採択結果（カッコ内は申請数）

種別	今年度	昨年度
助成 A 社会連携：文化芸術分野からの他分野との連携 対象：アーティスト・文化芸術団体（助成上限額：100万円）	3 (33)	3 (19)
助成 B 社会連携：観光・まちづくりの立場からの文化芸術活動との連携 対象：アーティスト・文化芸術団体以外（助成上限額：100万円）	1 (9)	1 (7)
助成 C キャリアアップ：自身の活動・業績を記録し、効果的にアピールするための記録集等 対象：39歳以下の若手アーティスト・文化芸術団体（助成上限額：30万円）	8 (17)	7 (26)
助成 D：文化芸術活動の効果的なデジタル情報発信 対象：アーティスト・文化芸術団体（助成上限額：10万円）	6 (6)	6 (15)
合計	18 (65)	17 (67)

助成上限額：全体経費の10分の10まで支給可能

■芸術分野 採択数（カッコ内は申請数） *複数回答あり

	美術	音楽	舞台芸術	映像	その他
助成 A	2 (11)	0 (15)	1 (12)	0 (5)	0 (3)
助成 B	1 (6)	1 (6)	0 (3)	0 (0)	0 (4)
助成 C	4 (9)	3 (4)	1 (3)	0 (1)	0 (1)
助成 D	2 (2)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 (0)

■社会連携分野 採択数（カッコ内は申請数） *複数回答あり

	観光	まちづくり	教育	国際交流	福祉	産業
助成 A	0 (15)	2 (15)	2 (15)	2 (10)	1 (4)	0 (3)
助成 B	0 (4)	1 (8)				

■ 採択概況

【助成 A】

クリエイティブ・リンク・ナゴヤのミッションである、文化芸術の社会連携をテーマにした助成で、33件と昨年度から大幅に申請数が増加し、倍率は10倍以上となりました。

採択された3件は、鶴舞公園とその近辺で美術とまちづくり・国際交流・教育が連携、飯田街道周辺で美術と国際交流・教育が連携、千種近辺で演劇とまちづくり・福祉が連携するものです。国内外のアーティスト、美術関係者、演劇関係者、研究者、まちづくり関係者、福祉団体など多彩な関係者により、連携分野と実効的な協働作業が行われ、名古屋の地域に根づいていくことが期待できるプロジェクトが採択されました。

【助成 B】

クリエイティブ・リンク・ナゴヤならではの助成で、観光やまちづくりを行う団体・事業者からの文化芸術との連携を対象とし、9件の申請がありました。昨年度に引き続き名駅南地区でのまちづくり団体からの申請1件が採択されましたが、昨年度の活動評価に基づいて新規活動を考案し、継続活動の意義があることが評価されました。

【助成 C】

若手アーティストのキャリアアップのために活動の記録集作成をサポートする、全国でも珍しい助成です。17件の申請のうち美術が4件、音楽が3件、舞台芸術が1件の、合計8件が採択されました。海外進出を視野にいたった現代美術のアーティスト、20年にわたる活動を紹介するダンスカンパニー、音楽配信サービスで作品を発表するボイスパフォーマンスなどによる申請が採択されました。

【助成 D】

新たな観客層を開拓するためにデジタル広報を活用したいアーティストのための、勉強会と広報用の助成金支給が一体となった取り組みです。舞台芸術が3件、美術が2件、音楽が1件の6件の申請があり、全件採択となりました。

■ 審査員による講評・総括

【助成 A・助成 B】

昨年度と比較すると、申請数は1.6倍、芸術領域および社会連携領域がバラエティに富み、申請全体のレベルは向上している。各申請事業に関与する国や地域・対象者・参加者も多様であり、名古屋の「市民」を構成する人々、文化芸術に関わる人々の多様化を反映している。それ故に審査の焦点も多岐にならざるを得なかった。

10倍以上という倍率もあり、文化芸術活動と「他分野」との実効的な協働がなされ、表現活動と社会連携のバランスがとれている企画が採択される結果となった。一方、不採択となった事業の中にも地域の活性化、人の繋がり、役割、居場所づくりに長け、芸術の本質をついたものが多かった。事務局には今回の申請傾向を分析し、名古屋の実情に沿ったクリエイティブ・リンク・ナゴヤらしい助成制度のあり方を構築することを期待する。

また、昨年度の採択を踏まえ、より発展させた内容で継続申請した個人・団体が複数件あった。継続支援することによる内容の充実とPDCAサイクルをふまえた活動が評価された申請が、2年連続での採択となった。芸術文化事業は成果が可視化されるまでに時間がかかるという特性があるため、継続支援の仕組みづくりも課題であるとする。

【助成 C】

名古屋の文化芸術の担い手が多様で可能性に満ちていることが実感できる申請がみられた。内容も初期作から近作までの変遷を包括したポートフォリオ、アーティストブック、カタログ的なものなど、また媒体も印刷冊子、ウェブ、PDF、CD、音源、音楽配信サービス登録まであり、芸術分野によりキャリアアップにつながるツールが様々であることを反映していた。このような状況を踏まえ、分野や媒体ごとに分けた選考方法をとるというのも一案であり、様々な分野の様々な記録集によるキャリアアップへの貢献度を、どのような軸で評価していくかの検討も必要である。

また、名古屋のネットワークの中で評価されたいという志向のアーティストがしばしば見られたのは気になる点である。名古屋を拠点とするアーティストに全国および世界に打って出るという気概を持ってもらい、そのためには包括的なポートフォリオの作成が有効であるため本助成を積極的に活用してほしいというアピールも必要ではないか。一方、同内容の助成を2年連続で実施した結果、申請数で昨年度を下回ったことを分析し、若手アーティストのニーズに沿った助成内容の検討を事務局には期待する。

【助成 D】

採択予定数が8件であったのに対し、6件の申請があり、内容審査で全件要件を満たしていたため、全6件の採択となった。デジタル広報の講座を経て、実践に活用してもらおうという趣旨であるが、アーティスト側のニーズに沿った広報支援についてさらに検討されたい。


* 審査会は助成種別により、芸術・まちづくりなどの有識者で構成し、氏名は非公表。

■ 採択事業・採択者紹介（五十音順）


【助成 A】

事業名	Metamorphosis メタモルフォシス・都市の変容	採択金額	¥1,000,000
実施者名	マーロン・グリフィス	連携分野	美術×まちづくり・国際交流・教育
期日・会場	2023年11月18日（土）（雨天の場合、翌19日（日）に順延） 予定 / 鶴舞公園		
事業内容	鶴舞公園を舞台に1時間程度のパレードを実施。パレードの参加者は事前のワークショップに参加し、アーティストと制作活動を行う。都市空間で、普段の生活では交わらない地域の人々が、パレードやワークショップを通じ、交流し、つながることで、地域コミュニティ形成を目指す。加えて、アーティストの母国の文化であるカーニバルを知り、制作することで、人種や国籍を超えたアートによる国際交流を目指す。		
実施者プロフィール	1976年トリニダード・トバゴ生まれ。名古屋を拠点とする現代美術アーティスト。故郷の伝統的なカーニバルをアートの形に昇華させ、多様な人々を結集させたパレードを制作する。制作過程で生まれる参加者同士の対話や体験の共有を重視し、コミュニティ内に新たな物語をもたらすことを目指す。2010年グッゲンハイム・フェロー選出。2022年ドクメンタ15（ドイツ）、2015年ヨーク大アートギャラリー（カナダ）、2014年テートモダン（イギリス）、2013年あいちトリエナーレ（日本）。		
活動写真			
評価されたポイント	芸術性の高さ/ワークショップからの国際交流が期待できる点/祝祭的なパレードが名古屋に及ぼす好影響/数々の実績から実現性が高いことなど		


事業名	飯田街道：聞き取りアートプロジェクト	採択金額	¥1,000,000
実施者名	廣田緑（ひろた・みどり）+Grafis Huru Hara（グラフィス・フル・ハラ）+Leonhart Bartolomeus（レオナル・バルトロメウス）	連携分野	美術×国際交流・教育
期日・会場	2024年2月～3月 / Space 新栄のあ・西念寺		
事業内容	アーティストとキュレーターが市民と協働し、新栄エリアに接する飯田街道の歴史を学び、版画などのアートで表現する市民参加型アートプロジェクトを行う。飯田街道の歴史を学ぶ探索ツアー、オープンスタジオ、シンポジウム、コラボ作品制作ワークショップと展覧会を実施する。アートを通じた地域の魅力・価値の発見、地域子どもたちに対する教育的貢献およびアートを通じての国際交流を目指す。		
実施者プロフィール	インドネシアで17年間制作活動を続けてきた名古屋出身の造形作家・廣田緑と、インドネシアのジャカルタで版画を媒体としたワークショップ、研究などのアート実践を行う版画家コレクティブ「グラフィス・フル・ハラ」、そして国際展「ドクメンタ 15」の芸術監督を務めたインドネシアのコレクティブ「ルアンルパ」のメンバー、レオナル・バルトロメウスが、聞き取り調査をベースにした協働アート・プロジェクトのために結成したユニット。		
写真			
評価されたポイント	海外からの移住者を含め、多様な近隣住民に開かれた視点と交流の促進/飯田街道の歴史の作品化を地元で行うこと/活動体制の構築や事前リサーチがしっかりなされていることなど		

事業名	街が舞台！多様な主人公たち	採択金額	¥1,000,000
実施者名	特定非営利活動法人ポパイ	連携分野	演劇×まちづくり・福祉
期日・会場	2023年7月～12月 / 西念寺・千種区千種1丁目町内		
事業内容	千種区千種1丁目町内の地域やコミュニティにかかわる人々が共に語り合い、聴き取りを行い、物語を生み出し、演劇を制作。西念寺をはじめ、千種1丁目内の街中を舞台として商店街、路地や広場で上演する。「まちなかエンゲキ」の手法を使い、地域住民と知的・発達障がい者や学校に行っていない子どもたちや保護者、地域の若者などがゆるやかにつながり交流、エンパワメントすることを目指すプロジェクト。		
実施者プロフィール	愛知県名古屋市を拠点に、障がい者の地域生活を広くサポートし、生活の向上と地域福祉の増進に寄与することを目的としている。法人の活動コンセプトである「もーやーこ（この地方の方言で“分けっこ、持ち寄り”の意味）」をキーワードに、私たちだけではできないことを多くの方々からアイデアや資源を持ち寄り分け合うことで持続可能な地域が生まれ、障がい者の生活そのものを大切に、芸術活動、就労機会の創出、存在と価値の向上のため、事業所内に留まることなくいくつかの企画、運営をしている。		
写真			
評価されたポイント	芸術と福祉との連携のバランスの良さ/障がいのある方の理解促進/活動の継続性/イベントの参加者を現実的な規模とする一方、助成を利用した映像の活用で発信していくという方向性など		

【助成 B】


事業名	クリチャレ名駅南クリエイティブチャレンジ 2023	採択金額	¥1,000,000
実施者名	名駅南地区まちづくり協議会（継続採択）	連携分野	まちづくり×美術・音楽
期日・会場	2023年10月～2024年2月 / 名駅南地区各所		
事業内容	<p>昨年度開催した複合型イベントの評価にもとづき、クリエイティブ×まちの可能性を考える講演会と地域住民とのワークショップ「クリさろ」、クリエイターを公募し、展示・発表する機会を生み出す「クリチャレコンペ」とアーティストインレジデンスプログラム「クリチャレ CAMP」を実施する。最終的にこれらの実施結果を総括し振り返るワークショップを開催する。地域住民の「関わりしろ」と名古屋圏のクリエイターが自主的かつ自発的な活動や情報発信ができる「関わりしろ」をつくることを目指す。</p>		
実施者プロフィール	<p>名駅南地区でクリエイティブ活動を活かしたまちづくりを推進する団体。目指すべきまちや通りのイメージを「名駅南地区まちづくりビジョン」として掲げ、まちの将来像を段階的に共有、ブラッシュアップしながら活動を進めている。中でもクリチャレにおいては、オープンスペースや駐車場、都市公園を表現の場として活用し、地域におけるクリエイティブな機運の持続的向上を目指す社会実験として、新たな協働やビジネス機会につなげることを目指す。</p>		
活動写真			
評価されたポイント	<p>昨年度の活動評価に基づいて新規活動を考案していること/地域ミーティングでの住民の巻き込みなど継続的な活動に発展する施策がとられていること/関係者の体制づくりがなされている点/将来的な自走を想定している点など</p>		

【助成 C】


事業名	afterimage (アフターイメージ)	採択金額	¥300,000
芸術分野	舞踊／コンテンポラリーダンス	制作物	WEB 制作
事業内容	20 年間の活動の歩みを網羅したポートフォリオとしての公式 Web ページを制作し、作品のアーカイブ化および観客動員数の増加を目指す		
実施者 プロフィール	ふとしたことをきっかけにダンスの洗礼を浴びてしまった服部哲郎を中心に、2003 年名古屋で結成。ダンサーは男性のみ。名古屋発のダンスカンパニーとして依然珍しい目で見られ続ける。1st 公演『だまれ、蕎麦が伸びる』を皮切りとして様々な形態のダンス作品を創作、2018 年には待望の落語パフォーマンス公演『松竹亭一門会』を発表。切れ味鋭いダンスと外連味あふれる演出で売り出すアラフォー突入の男たち。		
写真	 <p>©清水俊洋</p> <p>©Ayano Miura</p>		
評価された ポイント	名古屋に特化したコンテンポラリーダンスカンパニーとして 20 年にわたる実績/周年を機にアーカイブをするという方向性など		

事業名	須貝旭 (すがい・あさひ)	採択金額	¥300,000
芸術分野	美術／現代美術	制作物	印刷物・PDF
事業内容	作品の制作当初の状態を記録した冊子を作り、自身のコンセプトを伝える資料として活用する		
実施者 プロフィール	愛知県立芸術大学大学院博士後期課程修了。銀箔、尿素、サイアノタイプなどを使用し、10～100 年単位で図像を変容させる「時間を内包した絵画」を制作する。モチーフに関しても、天体の観察・観測にまつわるものや、狩猟動物の静物画など、人類による時間の表象を選択している。主な個展に「彗星考」(L gallery、名古屋市、2022 年)、「これから来る過去、通り過ぎた未来、おぼろげな今」(Gallery Valeur、名古屋市、2019 年)。		
写真			
評価された ポイント	今までの制作活動の実績/制作実践と冊子制作のコンセプトが合致している/研究やリサーチ結果も含まれているという構成・内容など		

実施者名	竹本知子（たけもと・さとこ）	採択金額	¥300,000
芸術分野	音楽／邦楽	制作物	CD 制作
事業内容	名古屋出身の箏演奏家として、伝統文化の普及と発展、次世代への継承を担い、楽器の知名度向上に寄与する狙いから、自身の宣伝資料となる CD を制作する		
実施者プロフィール	愛知県名古屋市出身。生田流沢井箏曲院師範。3 歳より母に手ほどきを受け、沢井一恵に師事。これまで数々の全国コンクールにて最優秀賞等受賞、NHK 邦楽オーディション合格。名古屋城や徳川園など、地元名古屋をはじめ全国各地にて依頼公演に数多く出演。2022 年「竹本知子 箏リサイトル 2022」にて名古屋市民芸術祭賞受賞。NHK-総合・Eテレ「みんなのうた」放送曲や NHK-FM「邦楽のひととき」出演。箏曲の普及・発展・伝承を使命とし活動する次代の箏演奏家である。箏曲「樹の会」主宰。		
写真	<p>©伊藤大介(SIGNO)</p> 		
評価されたポイント	今までの活動実績/名古屋から発信し、箏の普及と地域への演奏活動につなげたいという意欲など		

事業名	藤原葵（ふじわら・あおい）	採択金額	¥300,000
芸術分野	美術／現代美術	制作物	WEB 制作
事業内容	今後予定している海外での活動を念頭に、これまでの作品のアーカイブ化を進めるとともに、国内外への発信のための Web ページを作成する		
実施者プロフィール	アニメやマンガ、ゲームに登場する自然や光、爆発などのエフェクトをテーマに作品を制作している。主な展覧会に「あいちトリエンナーレ 2019」（愛知県美術館、2019 年）、「アートアワードトーキョー丸の内 2019」（行幸地下ギャラリー、東京都、2019 年）、「出張 N@豊田市美術館ギャラリー『わからなかった昨日の翌日“crossing that bridge now we've come to it”』」（豊田市美術館ギャラリー、愛知県、2021 年）、「形態」（三菱一号館美術館、東京都、2018 年）など。		
写真			
評価されたポイント	今までの制作活動の実績/現時点で自身のキャリア継続のためにポートフォリオをまとめたいという意欲など		


実施者名	MITOS (ミトス)	採択金額	¥300,000
芸術分野	美術／現代美術	制作物	印刷物
事業内容	これまでの活動の記録集として、名古屋のクラブカルチャーの記録集にもなりうるポートフォリオを作成する		
実施者プロフィール	1985 年生まれ。2008 年名古屋造形芸術大学美術学科洋画コース卒業。キャンバスという物質に対して、絵の具という物質を乗せてゆく作業の中で、絵画的エレメントを見つめながら、純粋な絵画表現の可能性を模索している。主な展覧会に「清須市はるひ絵画トリエンナーレ アーティストシリーズ Vol.97 MITOS 展 静寂のリズム」（清須市はるひ美術館、愛知県、2022 年）、「瀬戸現代美術展 2022」（菱野団地各所、愛知県、2022 年）など。Idemitsu Art Award 2022 ほか多数受賞。		
写真	 <p>©大津千寛</p>		
評価されたポイント	名古屋のクラブカルチャーの歴史を背景に 20 年にわたるライブペインティング活動をポートフォリオとして作成するというユニークな方向性/音楽とアートの垣根を超えて橋渡的な役割を果たしたいという意欲など		


実施者名	嶺元大和 (みねもと・やまと)	採択金額	¥300,000
芸術分野	音楽／クラシック音楽	制作物	CD 制作
事業内容	自作の楽曲を収録したポートフォリオとして CD を制作し、自身が進める「音楽と名古屋の飲食文化のコラボレーションプロジェクト」推進の一助とする		
実施者プロフィール	福岡県筑紫野市出身。大学在学中よりプロ活動を始め、これまでに 200 本以上のコンサートやイベント、LIVE などに出演。2023 年に、エンターテインメントを通じて名古屋や東海地方を更に魅力的な街にする「YAMATO One-up Project」を立ち上げ、名古屋だけでなく全国にその魅力を発信している。自らの手で生み出す音楽と飲食や文化の融合を目指し、独自の手法と音色で地方創生の一翼を担う。		
写真			
評価されたポイント	名古屋の飲食文化と音楽文化のコラボレーションという新規性のある取り組みを自ら企画している点など		

実施者名	山口麻加（やまぐち・あさか）	採択金額	¥300,000
芸術分野	美術／現代美術	制作物	印刷物
事業内容	2023 年 10 月に予定している愛知県内での展覧会に際して、自身の展示の記録集を日・英バイリンガル表記で作成する。アーティスト・イン・レジデンプログラムへの応募など、今後の海外での活動への手掛かりとすることを旨とする		
実施者プロフィール	1991 年大阪府生まれ。モノタイプやコラグラフなどの版画技法を用いて、紙やインクといった物質とイメージの関係性を追求している。また、2016 年より名古屋市内でオルタナティブ・スペース「波止場」を主宰し、展覧会やイベントなどの企画も行う。近年の主な展覧会に「エマージング・アーティスト展 part2」（銀座蔦屋書店 GINZA ATRIUM、東京都、2021 年）、「VOCA 展 2020」（上野の森美術館、東京都、2020 年）、三人展「田中藍衣・守本奈央・山口麻加」（愛知県美術館 8F ギャラリー、2019 年）などがある。		
写真			
評価されたポイント	ポートフォリオにアートブックの要素を取り込んでいること/個性と意欲が感じられる点、海外への発信もふまえている点など		

実施者名	ヨダミ	採択金額	¥200,000
芸術分野	音楽／即興音楽	制作物	音源制作
事業内容	国内外のコンペティションや音楽・アートイベントに向けて効果的にプレゼンスを示して活動範囲を拡大するため、自身のボイスパフォーマンスを収めた音源を制作し、音楽配信サービスを介して発信する		
実施者プロフィール	うたったり、とんだり、ほえたりする、即興ボイスパーフォーマー。幼少より木や岩を遊び場に育ち、身体感覚を養う。2004 年愛知県立芸術大学美術学部芸術学入学。在学中に自由即興バンド Geonori（ジオリ）に参加し、即興演奏に魅せられ、声を中心に全身で表現する独自のパフォーマンスを開始。これまで名古屋を中心に全国のライブイベントやアートイベントなどに出演。		
写真			
評価されたポイント	即興演奏が盛んな海外に向けて発信するために音楽配信サービスを活用するというアプローチ/ジャンルを超えて活動していきたいという意欲など		


【助成 D】

事業名	オイスターズ×ささしまスタジオ「短編芝居 WS 公演」	採択金額	¥100,000
実施者名	オイスターズ	芸術分野	演劇
期日・会場	イベント：2023年12月予定／ささしまスタジオ 広報実施：2023年8月1日～12月31日		
事業内容	動画を作成し、Web 広告を行うことで、より多くの客層に向けて演劇公演の周知を行う		
実施者プロフィール	「過剰なまでに会話劇」をテーマとし、不条理な状況に追いつめられる人間をドライな会話で浮かび上がらせる。本公演全国ツアーのほか、高校生のための演劇教室、MITAKA“Next”Selection、M ゲキ→ネクスト等に参加。作・演出の平塚直隆は、第4回仙台劇のまち戯曲賞大賞、第16回劇作家協会新人戯曲賞最優秀賞、若手演出家コンクール2011最優秀賞受賞他、第61回岸田國土戯曲賞では最終候補にノミネートされている。		
写真			

事業名	第11回公演『街窩の燈火』（仮題）	採択金額	¥100,000
実施者名	オレンチスタ	芸術分野	演劇
期日・会場	イベント：2024年2月5日（月）～18日（日）／ささしまスタジオ 広報実施：2023年8月1日（火）～2024年2月18日（日）		
事業内容	2年ぶりの本公演として新作長編を上演するにあたり、SNS や Web 広告、電子チケットサービスを活用して、特に若年層を対象に新規顧客を開拓する		
実施者プロフィール	愛知県名古屋を拠点に活動する劇団。2009年結成。労働問題、障がい者差別などのマクロな社会問題を、恋愛や家族などのミクロな視点から描いた劇作を、コンテンポラリーダンスやオブジェクトシアターと演劇を融合させた実験的な演出にて表出させ、常に新しい魅力を発信している。2017年『MANGAMAN』にてP新人賞/観客賞をW受賞。2022年『「サトくん」のこと。』にて、ニノキノスターが若手演出家コンクール2022最優秀賞を受賞。		
写真			

事業名	鑑賞ゲリラの秋冬コレクション	採択金額	¥100,000
実施者名	大野有紀子（おおの・ゆきこ）	芸術分野	美術
期日・会場	イベント：2023年9月～12月、2024年2月／アトラボあいち・名古屋市内の各ギャラリー・名古屋学芸大学卒展会場ほか 広報実施：2023年8月下旬～2024年2月中旬		
事業内容	対話型鑑賞会の参加者を募るため、SNS 広告を活用して広報の範囲を広げ、新たな客層を獲得する		
実施者プロフィール	CM プランナーを経て、アートプロジェクト「ゴエンナーレ」を主宰する。足助ゴエンナーレ（豊田市）異界庭園（名古屋市）などのアートイベントやワークショップを企画運営。 あいちトリエンナーレ 2019 で対話型鑑賞会の可能性に魅力を感じ、有志とファシリテーターグループ「鑑賞ゲリラ」を結成。名古屋市内外のギャラリーや美術館などの展覧会に赴き、豊かな鑑賞体験をサポートしている。		
写真			

事業名	Farbe vol.6（ふあるべ vol.6）	採択金額	¥100,000
実施者名	金城学院大学 人間科学部 芸術・芸術療法学科 第8期卒業生有志 演奏会「Farbe」実行委員会	芸術分野	音楽
期日・会場	イベント：2023年11月18日（土）／名古屋市緑文化小劇場 広報実施：2023年8月1日（火）～11月18日（土）		
事業内容	0歳から大人まで誰もが楽しめるクラシックコンサートの広報のため、Web上で効果的に広告を配信し、電子チケットサービスにより参加者の利便性向上を図る		
実施者プロフィール	子どもがいるから…、車椅子だから…、クラシックって難しそう…。そんなことで諦めて欲しくないという思いから「大人も子どももみんなで聴ける♪楽しめる！」をテーマに気軽に行けるクラシックコンサートを開催。また、子育て支援施設などへの出張公演も行っている。運営は子育て中のパパ・ママ、教育、介護、福祉に携わる者など多彩なメンバーが力を合わせて行い、だからこそ実現できるインクルーシブで楽しいコンサートを開催している。		
写真			

事業名	レッドユートピア	採択金額	¥100,000
実施者	スイートペイン	芸術分野	演劇
期日・会場	イベント：2023年11月25日（土）・26日（日）／名古屋市東文化小劇場 広報実施：2023年9月1日（金）～11月26日（日）		
事業内容	舞台公演を行うにあたり、SNS 広告および電子チケットサービスを活用して、主に愛知県近隣在住者をターゲットに、新規顧客開拓や認知度向上を目指す		
実施者 プロフィール	真宮広義を主宰とし、名古屋を中心に活動する劇団。2022年に発表した演劇公演『情に憑かれて～螺旋心中～』は、実際の歴史上の2つの心中について描き、主宰の真宮が10年来一貫して通してきたテーマ「愛と死」に対しての真宮なりの集大成と最高峰の答えとした。 2023年のスイートペインは新たなテーマブランド「闘- IKUSA-」を立ち上げ、一貫したテーマとして「人はなぜ闘うのか」を掲げる。		
写真			

事業名	美術館の新しい魅力を発見！ ～デジタルで展示作品をもっと知る～	採択金額	¥100,000
実施者名	公益財団法人古川知足会 古川美術館・分館爲三郎記念館	芸術分野	美術
期日・会場	イベント：2024年1月6日（土）～2月18日（日）／古川美術館 広報実施：2024年1月6日（土）～2月18日（日）		
事業内容	収藏品管理システムをあらたに導入し、デジタルの展覧会出品作品の情報発信をウェブサイトやSNSで実施する。SNS広告を活用して、ウェブサイトやSNSになじみのある層にアプローチする		
実施者 プロフィール	古川美術館は、初代館長故古川爲三郎が長年にわたって集めた美術品を、地域の皆様に親しんでいただきたいという趣旨で開館し、現在に至るまで約35年間、2,800点にのぼる所蔵作品を展示公開している。また、爲三郎記念館は、私邸を地域の皆様の憩いの場として使っていただきたいという古川の遺志を受けて開館。創建時の数寄屋建築の姿をとどめた国登録有形文化財の邸宅で、展覧会や茶会などの催しを開催している。		
写真			

以上